

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	知的障害児の心理・生理・病理 [Psychology, Physiology and Pathology of Children with Intellectual]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750136	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	本田 和也			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(1)		
授業概要	<p>本授業の目的は、特別支援教育の中でも、特に知的障害教育に携わる教員に求められる専門性を養うことであり、特に知的障害児の心理・生理・病理を幅広く学ぶことである。</p> <p>特別支援学校(知的障害)での指導経験を活かし、本授業では、知的障害の定義や生理・病理面での理解を図った上で、心理面での特性とニーズについての学びを図る。</p> <p>また、実際の実践に生きるように言語指導等を含め、知的障害児の実態や特性に合わせた具体的な指導について事例等を通して理解を深める。</p>						
関連する科目	履修前に「教育心理学」や「発達心理学」を履修しておくことが望ましい。履修後は、「知的障害児の心理と発達支援」を履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 知的障害についてのガイダンス 知的障害の捉え方 知的障害の理解 知的障害の分類 知的障害の捉え方や心理面とともに、生理・病理面での知識を学ぶ。 知的障害児の認知 知的障害児と学習 知的障害児の学習過程・理論と学習支援 知的障害児の問題解決における方略使用と学習過程 知能の生涯発達変化 知的障害児の認知的学習について学ぶ。 知的障害児の言語発達 知的障害児の言語指導－インリアル・アプローチ－ 知的障害児の言語発達とともに、実際の指導場面での言語指導方法について学ぶ。 知的障害と動機づけ 知的障害と合理的配慮 知的障害と支援機器 知的障害児の心理特性を踏まえた学習とその支援について学ぶ。 知的障害に関連する諸障害 知的障害を併せ有する障害について知識とともにその支援について学ぶ。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)知的障害の心理・生理・病理的側面に関する基本的な事項を説明することができる。 (2)知的障害児の心理と特性を理解し、支援方法を説明することができる。 (3)知的障害児の状態や発達、特性等を踏まえ、知的障害教育の指導法を理解することができる。 						
授業時間外の学修	<p>【予習】 授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく(1時間程度)</p> <p>【復習】 テキストや配布したプリント等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく(1時間程度)</p>						
課題に対するフィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。	評価方法		通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容(20%)、及び最終試験(80%)で総合的に評価する。			
テキスト	文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)』開隆堂(159円＋税)						
参考書	梅谷忠勇著(2012)『改訂知的・発達障害児の学習－心理と指導支援－』田研出版(2,500円＋税) 梅谷忠勇著(2004)『図解知的障害児の認知と学習－特性理解と援助－』田研出版(2,000円＋税) 竹田契一・里見恵子編(1994)『子どもとの豊かなコミュニケーションを築くインリアル・アプローチ』新日本印刷(2,300円＋税)						
備考							